

# 小数や分数のたし算のしかたについて考えよう

「課題チャレンジ 小数や分数のたし算のしかたについて考えよう」では、それぞれのたし算の場面を考えることを通して、小数でも分数でも、もとにする大きさのいくつ分とみることで、整数のたし算と統合的に考えることができることを示しています。ここでは、その活用場面例を紹介します。

## ワークシート活用場面例

### ポイント

1 共通点や類似点、相違点に着目させる

2 条件を変えて問う（問い返し）

### 第3学年 10月「小数」

表 1 はなこさんは、 $0.3+0.5$ について次のように考えています。

【はなこさんの考え】 を1とすると は が3つ分 は が5つ分	$0.3+0.5$ について、 のいくつ分かを考えると、 $3+5=8$ という整数のたし算に表すことができます。 の8つ分なので、答えは、 $0.8$ です。	【はなこさんの考え】の中の、1つ分の大きさの は、どれも同じ大きさで次のように説明することができます。 1つ分の大きさの は、 を表しています。 に入る数を答えましょう。(答)
--	--	--

裏 1 の答え (答) 0.1

→正解の人は表の②へ進み、不正解の人は下のステップ1で確かめましょう。

ステップ1 は、 を10等分した1つ分なので、 $0.1$ です。

□小数のたし算は、 $0.1$ のいくつ分かを考えると、整数のたし算にして、計算することができます。

第4学年の小数のたし算のしかたを考える場面です。

たとえば、3年生で学習した  $0.3+0.5$  の計算だったら、 $0.1$ のいくつ分で考えると、整数のたし算にして計算することができました。だから、 $3.65+4.21$  の計算では、 $0.01$ のいくつ分で考えると、3年生の時と同じように、整数のたし算にして計算することができます。



児童

### 第4学年 11月「小数」

表 2 はなこさんは 1 で考えたことをもとに、 $0.1$ より小さい小数のたし算でも同じように考えると、整数のたし算にして考えることができるのではないかと考えています。

【はなこさんの考え】  
たとえば、 $3.65+4.21$  だったら、 $3.65$  は、 $0.01$  が  $365$  ぶん、 $4.21$  は、 $0.01$  が  $421$  ぶんだから、 $365+421=786$  で、 $0.01$  が  $786$  ぶんになります。だから、 $3.65+4.21=7.86$  です。

はなこさんは、小数のたし算を整数のたし算で考えるために、1つ分の大きさをいくつにして考えていますか。

裏 2 の答え (答) 0.01

→正解の人は表の③へ進み、不正解の人は下のステップ2で確かめましょう。

ステップ2 はなこさんは、  
「 $3.65$  は、 $0.01$  が  $365$  ぶん、 $4.21$  は、 $0.01$  が  $421$  ぶん」と考えているので、 $0.01$ のいくつ分で考えています。

【問題にチャレンジしよう!】  
 $5.21$  と  $0.7$  は、それぞれ  $0.01$  を何個集めた数になりますか。  
□に入る数を書きましょう。

$5.21 + 0.7$

□個 □個

□小数のたし算は、 $0.01$ のいくつ分かを考えると、整数のたし算にして、計算することができます。



先生

今までに学習した

1 小数のたし算のしかたをもとにして、考えることができましたね。  
3年生で学習した分数のたし算と共通していることはありますか。

分数も、もとにする分数のいくつ分かを考えて、整数のたし算にして考えることができました。もとにする大きさのいくつ分で考えると、整数のたし算になるところが、共通しています。



児童

### 第3学年 11月「分数」

表 3 はなこさんは、 $\frac{1}{5}+\frac{2}{5}$  のような分数のたし算でも、1、2と同じように考えたと言っています。

【はなこさんの考え】  
たとえば、 $\frac{1}{5}+\frac{2}{5}$  だったら、のいくつ分かを考えると、

を1とすると  
は が1つ分  
は が3つ分

はなこさんの考えの続きを答えましょう。

裏 3 の答え (答)  $\frac{3}{5}$

例  $1+3=4$  という整数のたし算に表すことができます。  
の4つ分なので、答えは、 $\frac{4}{5}$  です。

→正解の人も、不正解の人も下のステップ3で確かめましょう。

ステップ3 は、 を5つに分けた1つ分の  $\frac{1}{5}$  をもとにして考えています。

□分数のたし算は、もとにする分数のいくつ分かを考えると、整数のたし算にして、計算することができます。

□□□□□よりかえらう!  
小数でも分数でも、( ) 大きさのいくつ分とみることで、整数のたし算と同じように計算ができる。



先生

小数でも分数でも

1 もとにする大きさをいくつにするとよいか考えれば、たし算ができることに気付くことができましたね。